

千葉県独自分積算基準 (農業農村整備事業)

令和7年4月16日適用

千葉県農林水産部耕地課

本書の取扱いに関する留意事項

1 取扱い

本書は、千葉県農林水産部の積算基準（農業農村整備事業）を一般公開するために作成したものであり、この取扱いは「千葉県農林水産部の積算基準（農業農村整備事業）の公開に関する事務取扱要領」（令和4年4月1日施行）に基づくものである。

2 適用範囲

本書は、千葉県農林水産部が発注する農業農村整備事業の工事及び委託業務における積算において適用する。

3 適用日

令和7年4月16日

4 公開内容

本書の公開内容は次のとおりである。

（1）令和7年度 地すべり調査業務の歩掛等

5 公開期間

本書の公開期間は、適用日から1年間である。

6 問い合わせ

本書の内容について、電話等による問い合わせには対応していない。

令和 7 年度 地すべり調査業務の歩掛等

1. 目 的 見積歩掛及び単価を用いて地すべりに関する調査業務を発注するもの。
2. 実施場所 千葉県安房農業事務所及び千葉県君津農業事務所の管内
3. 適用期間 令和 7 年度
4. 設定内容
 - (1) 設定歩掛等一覧は、下記のとおり。
 - (2) 設定歩掛等の詳細は別紙表－ 1 から表－ 3 のとおり。
5. 留意事項 労務単価及び材料単価のうち千葉県の基礎単価を使用しているものについては、積算者においてその都度最新の設定単価に入れ替えて積算を行うこと。

記

■出典資料：「全国標準積算資料(土質調査・地質調査)令和 5 年度改訂歩掛版」

番号	項目	掲載場所	摘要
3－3－5－2	伸縮計(地中)	IV-131	「(3)資料整理」を除く
3－3－7	地下水検層	IV-137	「(2)解析」を除く
3－3－8	簡易揚水試験	IV-138	「(2)資料整理」を除く
3－3－10	ブロックサンプリング	IV-140	
3－3－11	地下水追跡	IV-140	「(1)投入・採取」を3種類 「(2)分析」を3種類 「(3)解析」を除く
3－3－13	移動杭調査	IV-143	「(3)資料整理」を除く
1－30	リングせん断試験（リング回転せん断）	VII-28	
特別歩掛	パイプ歪計及び水位計設置	IV-121 IV-134	3－3－3と3－3－6を同時に設置・観測する場合のもので記録装置を1つとしたもの

■出典資料：「令和 6 年度 設計業務等標準積算基準書」

番号	項目	掲載 p	摘要
5－5－1	地盤特性検討	2-2-38	補正係数の見積り
5－5－2	機構解析	2-2-38	補正係数の見積り
5－5－4	対策工法選定	2-2-39	補正係数の見積り

令和7年度 地すべり調査業務の見積依頼表【単価のみ】

3－3－5－2 伸縮計（地中）

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和5年度改訂歩掛版 IV-131

（1）設置

1孔当たり（深度30m以内）歩掛表

(IV212表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量		単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人					
②	〃	主任地質調査員		人					
③	〃	地質調査員		人					
	〃	計							
④	材料費	伸縮計		台			210,000	イ-1	
⑤	〃	塩ビパイプ	φ48mm , t 3.6mm	本			365	イ-2	
⑥	〃	グラウト材		本			400	イ-3	
⑦	〃	収納箱		箱			21,000	イ-4	
⑧	〃	消耗品		式					④～⑦の材料費計の10%
	〃	計							
⑨	機械等損料	ボーリングマシンー式	油圧式100m型、ポンプ含む	日			15,270	参-1	3-1-3-1参照(B.M.単価)
	合計								

※ 機械等損料日当たり：見積結果を使用。若しくは、3-1-3-1（計算式あり）を準用。

注1. 消耗品には、ワイヤー、おもり、アース棒、アース線、ソケット、ポリホース、固定金具、杭口モルタル等を含む。

注4. 調査深度により次の補正係数を乗じて積算のこと。

深度m	30m以内	30～40m以内	40～50m以内	50m超
補正係数	1.00	1.15	1.25	適宜積算

3－3－7 地下水検層

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和5年度改訂歩掛版 IV-137

（1）観測

1孔当たり歩掛表（深度30m以内）

(IV233表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量		単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人					
②	〃	地質調査員		人					
	〃	計							
③	材料費	検層コード		個			320,000	ロ-1	
④	〃	消耗品		式					③の材料費計の4%
	〃	計							
⑤	機械等損料	測定器	150点切替	日			1,500	ロ-2	
⑥	〃	エアポンプ（排水ポンプ）		日			0	ロ-3	必要に応じて計上
	〃	計							
	合計								

注1. 消耗品には、ホース、ドラム缶等を含む

注2. 調査深度により次の補正係数を乗じて積算のこと。

深度m	30m以内	30～40m以内	40～50m以内	50m超
補正係数	1.0	1.3	1.5	適宜積算

3-3-8 簡易揚水試験

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和5年度改訂歩掛版 IV-138

(1) 試験		1回当たり歩掛表						(IV235表)	
番号	種別	細別	摘要	単位	数量		単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人					
②	"	主任地質調査員		人					
③	"	地質調査員		人					
	"	計							
④	材料費	消耗品		式					直接人件費×5%
⑤	機械等損料	エアープンプ		日			2,280	ハ-1	
⑥	"	ボーリングマシン	100m型	日					3-1-3-1参照(B.M.単価)
	"	計							
⑦	動力費	軽油		L					※設計時の単価期で入替
⑧	"	油脂		式					軽油費の20%
	"	計							
	合計								

3-3-10 ブロックサンプリング

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和5年度改訂歩掛版 IV-140

		1試料当たり歩掛表						(IV240表)	
番号	種別	細別	摘要	単位	数量		単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人					
②	"	主任地質調査員		人					
③	"	地質調査員		人					
	"	計							
④	材料費	土質採取機		本			10,400	ニ-1	
⑤	"	消耗品		式					直接人件費×4%
	合計								

3-3-11 地下水追跡

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和5年度改訂歩掛版 IV-140

(1) 投入・採水

1ヶ月当たり歩掛表

(IV241表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	〃	地質調査員		人				
	〃	計						
③	材料費	投入薬品	「修正要因」参照	kg			ホ-1からホ-3	
④	〃	採水器		個		420	ホ-4	
⑤	〃	採水瓶	100cc入れ 20個 × (4+3+2+27)	本		110	ホ-5	
⑥	〃	消耗品		式				直接人件費×1%
	〃	計						
	合計							

調査条件（基本）

投入薬品：1試料

採水期間：投入前5日、投入後25日

計30日

採水箇所：10～20箇所

採水方法：投入日4回、2日目3回

3日目2回、

4～25日 1日1回

投入孔～採水地点の距離：100m

修正要因	50m以下	100m以下	200m以下	単価	単位	識別番号
採水期間	25 日	30 日	60 日			
地質調査技師					円/人	
地質調査員					円/人	
食塩				110	円/kg	ホ-1
硫酸マンガン				1,700	円/kg	ホ-2
フローレッシェン				32,900	円/kg	ホ-3
採水器				420	円/個	ホ-4
採水瓶				110	円/本	ホ-5

※採水箇所20地点で想定

(1) 投入・採水

採水距離 50m以下

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人			
②	〃	地質調査員		人			
	〃	計					
③	材料費	投入薬品	食塩	kg			投入薬品を選択する
④	〃	採水器		個		ホ-4	
⑤	〃	採水瓶	100cc入れ 20個 × (4+3+2+22)	本		ホ-5	
⑥	〃	消耗品		式			直接人件費×1%
	〃	計					
	合計						

(1) 投入・採水

採水距離 100m以下

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人			
②	〃	地質調査員		人			
	〃	計					
③	材料費	投入薬品	食塩	kg			投入薬品を選択する
④	〃	採水器		個		ホ-4	
⑤	〃	採水瓶	100cc入れ 20個 × (4+3+2+27)	本		ホ-5	
⑥	〃	消耗品		式			直接人件費×1%
	〃	計					
	合計						

(1) 投入・採水

採水距離 200m以下

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人			
②	〃	地質調査員		人			
	〃	計					
③	材料費	投入薬品	食塩	kg			投入薬品を選択する
④	〃	採水器		個		ホ-4	
⑤	〃	採水瓶	100cc入れ 20個 × (4+3+2+57)	本		ホ-5	
⑥	〃	消耗品		式			直接人件費×1%
	〃	計					
	合計						

(2) 分析 1,000試料当たり歩掛表 (IV242表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量 定性分析	数量 定量分析	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	〃	地質調査員		人				
	〃	計						
③-1	材料費	試薬類	検出品 (分析試薬類)	式				投入品
④	〃	試験器具		式			～6	
⑤	〃	消耗品		式				直接人件費×1%
	〃	計						
⑥	機械等損料	分析器具		日			～7	
	合計							

投入品	検出品 (分析試薬類)		定性	定量	単価	単位	備考	識別番号
地質調査技師						円/人		
地質調査員						円/人		
硫酸マンガン	硝酸銀				32,500	円/50g		～1
	アンモニア水				1,900	円/500g		～2
食塩	クロム酸カリウム				6,500	円/500g		～3
	硫酸銀0.02N				13,600	円/500g		～4
フローレッシェン	蛍光光度計				3,400	円/台	機械等損料	～5
試験器具					3,100	円/1式		～6
分析器具					9,600	円/日	機械等損料	～7

(2) 分析 1,000試料当たり歩掛表

番号	種別	細別	摘要	単位	数量 定性分析	数量 定量分析	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	〃	地質調査員		人				
	〃	計						
③-1	材料費	試薬類	硝酸銀50g+アンモニア水500g	式			～1+2	定性分析：硫酸マンガン
④	〃	試験器具		式			～6	
⑤	〃	消耗品		式				直接人件費×1%
	〃	計						
⑥	機械等損料	分析器具		日			～7	
	合計							

(2) 分析 1,000試料当たり歩掛表

番号	種別	細別	摘要	単位	数量 定性分析	数量 定量分析	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	〃	地質調査員		人				
	〃	計						
③-1	材料費	試薬類	クロム酸カリウム500g+硫酸銀500g	式			～3+4	定量分析：食塩
④	〃	試験器具		式			～6	
⑤	〃	消耗品		式				直接人件費×1%
	〃	計						
⑥	機械等損料	分析器具		日			～7	
	合計							

(2) 分析 1,000試料当たり歩掛表

番号	種別	細別	摘要	単位	数量 定性分析	数量 定量分析	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	〃	地質調査員		人				
	〃	計						
③-1	材料費	試薬類	蛍光光度計	式			～5	定量分析：フローレッシェン
④	〃	試験器具		式			～6	
⑤	〃	消耗品		式				直接人件費×1%
	〃	計						
⑥	機械等損料	分析器具		日			～7	
	合計							

3-3-13 移動杭調査

掲載箇所：全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和5年度改訂歩掛版 IV-143

(1) 設置 1本当たり歩掛表

(IV247表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人				
②	〃	地質調査員		人				
	〃	計						
③	材料費	コンクリート	50×50×50cm	m ³		16,440	チ-1	
④	〃	消耗品		式				直接人件費×10%
	〃	計						
	合計							

注1. 消耗品には、木杭、砂利等を含む

粘性土 1 試料につき 4 供試体

(VII036表)

番号	種別	細別	摘要	単位	数量	単価	識別番号	備考
①	直接人件費	試験員B	(7.0+14.0)	時間		6,257	ヌ-1	1時間あたり単価
②	〃	試験員C	(4.0+6.0+4.0+14.0+3.0+10.0)	時間		4,871	ヌ-2	1時間あたり単価
	〃	計						
③	器具償却費	恒温乾燥炉		時		110	ヌ-3	
④	〃	攪拌機		時		55	ヌ-4	
⑤	〃	ふるい一式(A)	標準ふるい	時		110	ヌ-5	
⑥	〃	供試体成形用具		時		55	ヌ-6	
	〃	計						
⑦	機械等損料	試験機		時		1,290	ヌ-7	
⑧	〃	圧密装置		時		110	ヌ-8	
⑨	〃	エアコンプレッサー	補助タンク付き	時		55	ヌ-9	
⑩	〃	データロガー		時		55	ヌ-10	
⑪	〃	ユニバーサルスキャナ		時		55	ヌ-11	
⑫	〃	計算機		時		110	ヌ-12	
	〃	計						
⑬	消耗品費	シリコン		g		12	ヌ-13	
⑭	〃	その他		式				⑬の消耗品費の10%
	〃	計						
⑮	ソフト使用料			式		27,678	ヌ-14	
⑯	水道光熱費	(付帯設備費を含む)		式				上記合計の7%
	合計							

注：単独で実施する場合は土粒子の密度試験費を別途加算すること

令和7年度 地すべり調査業務の見積依頼表〔歩掛及び材料費等〕

特別歩掛1－1 水位観測孔・歪計・水位計の設置

1孔当たり(深度30m以内)歩掛表						(特01表)			
番号	種別	細別	摘要	単位	数量		単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人	0.5			特-甲1	水位観測孔・歪計・水位計の設置
②	〃	主任地質調査員		人	1.5			特-甲2	〃
③	〃	地質調査員		人	3.0			特-甲3	〃
	〃	計							
⑤	材料費	塩ビ管(無孔管)	VPφ50mm	m	1.0		2100	特-甲4	水位観測孔の設置
⑥	〃	パイプ式歪計	φ48mm、t 3.6mm、1方向2ゲージ	本	30.0		5,250		歪計の設置
⑦	〃	リード線	2方向4ゲージの場合1,020m	m	510.0				〃
⑧	〃	消耗品・雑品	集計範囲：上記の材料費	%	33.0			特-甲5	注2
	〃	計							
⑨	機械等損料	ボーリングマシン	油圧式100m型	日	0.5				注3
	合計								

パイプ式歪計は2方向4ゲージの単価を下記に記載する。

種別	細別	適用	単位	単価
材料費	パイプ式歪計	φ48mm、t 3.6mm、1方向2ゲージ	本	7,500

- 注1. 削孔費は別途計上のこと(上記ボーリングマシンは、観測孔設置時に使用)
- 注2. 消耗品・雑品には、グラウト材、ソケット、中間パイプ、ビニルテープ、木杭、砂利、フィルター、歪計収納箱、水位計格納箱等を含む。
- ただし、歪計収納箱及び水位計格納箱の単価は下記を参考とする。

種別	細別	摘要	単位	数量		単価	識別番号
材料費	収納箱	歪計用	箱	1.0		32,000	特-甲参1
材料費	格納箱	水位計用	箱	1.0		32,000	特-甲参2

- 注3. 機械等損料日当たり：3-1-3-1参照(計算式あり)を使用
- 注4. 調査深度により次の補正係数を乗じて積算のこと。

深度m	20m以内	20～30m以内	30～40m以内	40～50m以内	50m超
補正係数	0.80	1.00	1.30	1.50	適宜積算
識別番号	特-甲6	特-甲7	特-甲8	特-甲9	

特別歩掛1－2－1 歪計・水位計による観測

1孔当たり(深度30m以内)歩掛表						(特02-1A表)			
番号	種別	細別	摘要	単位	数量 都度観測 (1孔)	数量 連続観測 (10孔)	単価 都度観測 (1孔)	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人	0.1			特-乙1	歪計・水位計による観測
②	〃	主任地質調査員		人	0.0			特-乙2	〃
③	〃	地質調査員		人	1.0			特-乙3	〃
	〃	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲：上記の人件費	%	1.0			特-乙4	歪計・水位計による観測
⑤	機械等損料	静歪み指示計		台・日	1.0		540	特-乙5	歪計による観測
⑥	〃	水位観測機器	水圧式	基・日	1.0		270	特-乙6	水位計による観測
	〃	計							
	合計								

1孔当たり(深度30m以内)歩掛表						(特02-1B表)			
番号	種別	細別	摘要	単位	数量 都度観測 (1孔)	数量 連続観測 (10孔)	単価 都度観測 (1孔)	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人	0.1			特-乙1	歪計・水位計による観測
②	〃	主任地質調査員		人	0.0			特-乙2	〃
③	〃	地質調査員		人	1.0			特-乙3	〃
	〃	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲：上記の人件費	%	1.0			特-乙4	歪計・水位計による観測
⑤	機械等損料	静歪み指示計		台・日	1.0		540	特-乙5	歪計による観測
⑥	〃	水位観測機器	フロート式	基・日	1.0		270	特-乙8	水位計による観測
	〃	計							
	合計								

注1. 観測孔の深度により次の補正係数を乗じて積算のこと。

深度m	30m未満	30～40m未満	40～50m未満	50m超
補正係数	1.00	1.15	1.30	適宜積算
識別番号	特-乙10	特-乙11	特-乙12	

特別歩掛1-2-2 歪計・水位計による観測

10孔当たり(深度30m以内)歩掛表									
(特02-2A表)									
番号	種別	細別	摘要	単位	数量 都度観測 (1孔)	数量 連続観測 (10孔)	単価 都度観測 (1孔)	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人		4.0		特-丙1	歪計・水位計による観測
②	"	主任地質調査員		人		0.0		特-丙2	"
③	"	地質調査員		人		4.0		特-丙3	"
	"	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲：上記の人件費	%		1.0		特-丙4	歪計・水位計による観測
⑤	機械等損料	静歪み指示計		台・日		1.6	215	特-丙5	歪計による観測
⑥	"	水位観測機器	水圧式	基・日		1.6	1,230	特-丙6	水位計による観測
	"	計							
	合計								

10孔当たり(深度30m以内)歩掛表									
(特02-2B表)									
番号	種別	細別	摘要	単位	数量 都度観測 (1孔)	数量 連続観測 (10孔)	単価 都度観測 (1孔)	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人		4.0		特-丙1	歪計・水位計による観測
②	"	主任地質調査員		人		0.0		特-丙2	"
③	"	地質調査員		人		4.0		特-丙3	"
	"	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲：上記の人件費	%		1.0		特-丙4	歪計・水位計による観測
⑤	機械等損料	静歪み指示計		台・日		1.6	215	特-丙5	歪計による観測
⑥	"	水位観測機器	フロート式	基・日		1.6	1,330	特-丙8	水位計による観測
	"	計							
	合計								

注 1. 連続観測は、観測孔数により次の補正係数を乗じて積算のこと。

孔数	1～4	5～7	8～10
補正係数	0.50	0.75	1.00
識別番号	特-丙10	特-丙11	特-丙12

注 2. 観測孔の深度により次の補正係数を乗じて積算のこと。

深度m	30m以内	30～40m以内	40～50m以内	50m超
補正係数	1.00	1.30	1.50	適宜積算
識別番号	特-丙13	特-丙14	特-丙15	

特別歩掛1-3 歪計・水位計による観測の資料整理

1ヶ月 1孔当たり 歩掛表									(特01表)
番号	種別	細別	摘要	単位	数量		単価	識別番号	備考
①	直接人件費	地質調査技師		人	0.20			特-丁1	歪計・水位計による観測の資料整理
②	〃	主任地質調査員		人	0.00			特-丁2	〃
③	〃	地質調査員		人	0.80			特-丁3	〃
	〃	計							
④	材料費	消耗品・雑品	集計範囲：上記の人件費	%		3.00		特-丁4	歪計・水位計による観測の資料整理
	合計								

注 1. 資料整理の実施頻度に応じて次の補正係数を乗じて積算のこと。

観測月数/実施回数	2ヶ月/1回	3ヶ月/1回	4ヶ月/1回	5ヶ月/1回	6ヶ月/1回	12ヶ月/1回
補正係数	1.80	2.70	3.50	4.20	5.00	10.00
識別番号	特-丁5	特-丁6	特-丁7	特-丁8	特-丁9	特-丁10

令和7年度 地すべり調査業務の見積依頼表〔補正係数のみ〕

地すべり解析に係る個所数等による補正

令和6年度 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務

第2章 地質調査標準歩掛等 第5節 地すべり調査

5-5-1 地盤特性検討

(1業務当り)

工程 \ 職種	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
地盤特性検討	1.0	1.0	0.5	1.0	1.5

注1. 本表は、地盤特性検討1箇所の場合の標準歩掛であり、検討個所数に応じて

下表の補正係数を標準歩掛に準じて適用する。

検討個所数(箇所)	1	2	3	4	5	6	7	8
補正係数	1.0	1.6	2.1	2.7	3.3	3.9	4.4	5.0

5-5-2 機構解析

(1業務当り)

工程 \ 職種	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
機構解析	1.5	1.5	1.0	1.0	0.5

注1. 本表は、機構解析1ブロックの場合の標準歩掛であり、解析ブロック数に応じて

下表の補正係数を標準歩掛に準じて適用する。

解析ブロック数	1	2	3	4	5	6	7	8
補正係数	1.0	1.3	1.6	1.9	2.2	2.5	2.8	3.1

5-5-4 対策工法選定

(1業務当り)

工程 \ 職種	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
対策工法選定	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0

注1. 本表は、対策工法選定対象1箇所あたりの場合の標準歩掛であり、

選定個所数に応じて下表の補正係数を標準歩掛に準じて適用する。

選定個所数(箇所)	1	2	3	4	5	6	7	8
補正係数	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5